

課題の認識と対応へ

宮崎理事長から副理事長を
拝命いたしました東北大学の
佐々木です。歯学協には日本
補綴歯科学会の理事長であつ
た平成22年から理事として、24年からは学術担当
の常任理事として係っております。

さて歯学分野では近年、国試合格率の抑制や歯
科医療費の伸び悩み、あるいは専門医制などの重
大な課題を抱え、歯科医師会や大学、学会がそれ
ぞれの立場から憂慮しています。一方、目を歯学か
ら一歩外へ転じれば、再生医療やITを初めとする科
学技術の急速な進歩、衰えた国力を再浮上させる
策としての医療イノベーション、大学教育改革など大
きな変革の時期を迎えています。私どもの歯学の教
育、研究、臨床も、この大きなうねりの中にいま
す。このような時局において私どもがやらなければなら
ないことは、あまりにも山積しています。今具体的な
アクションを起こさなければ、歯学はさらなる苦境を
迎えることは間違いないでしょう。

私は今、総合大学の中の歯学部を預かる立場とし
て他のdisciplineとの競争のもと、歯学を保つべく足
掻いています。また実学としての、またヘルスサイエ
ンスの一つとしての歯学のプレゼンスという観点か
ら、医療機器開発にも意識的にのめり込んでいま
す。でも小さな、限られた抵抗です。

我が国の歯学の再興には、今や全ての歯科、歯
学関係者が事態の重要性を等しく認識し、それぞれの
立場で最大限の努力をすることと、さらに立場、垣
根を超えた理解と協調による対応が必要と感じてい
ます。閉じられた価値感から脱却し、内なる課題に
はグローバルな視点から、外の課題には歯学の独
自性、優位性に立脚した対応を広く行う時です。

歯学協は学協会の集合体であり、これら対応には
相応しくない場かも知れません。しかし日本学術会
議歯学委員会や日本歯科医学会などと協力しなが
ら、議論の場、提言あるいは施策の場となり得るも
のとも思っています。

歯学協からのお知らせ

■会員情報の更新

新年度を迎え、各会員(学会)の皆様には、事務局
の変更など、関係事項に変更がありましたら速やか
にご連絡下さい。直ちにホームページ記載の内容を
改変致します。

■後援について

本協議会では会員学会の学術大会等への後援を
積極的に行っております。名義だけの後援ではござ
いいますが、歯学協を広く知っていただくために貴学
会におかれましても、歯学協の後援制度をご活用下
さい。決まった書式はございませんので、貴学会所
定の後援依頼書を歯学協事務局までお送り下さい。

■総会・学術大会日程の掲載

本協議会のホームページは、各学会での学会日
程決定の調整に非常に有効に使われております。
最近、各学会が数年先まで総会・学術大会開催日
程を決めるようになってきました。その際、他の学会
との日程調整が重要な課題であります。現在、その
情報をもっとも有効に提供できるのが、本会ホーム
ページです。各学会で決定次第直ちにご連絡戴け
れば、早速ホームページ該当欄に掲載致します。宜
しくお願い致します。今回からは、このNLにも掲載を
始めます。

■学会からの情報などをNLやHPIに掲載します。

学会で取り組んでいる 트렌ディーな情報や歯科
界や厚労省への提言など、専門学会ならではの
ご意見をお寄せ下さい。前向きな意見交換の場になれ
ばと考えています。

日本歯学系学会協議会 第8回シンポジウム

日時: 2015年2月7日(土)

会場: 課題・講師は、次号にて掲載予定

歯学協共催シンポジウム

平成27年度 第6回日本デジタル歯科学会

日時: 2015年4月26日(日)

会場: 福岡国際会議場

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

大会長: 佐藤博信(福岡歯科大学咬合修復学
講座冠橋義歯学分野 教授)

会員学会の総会・学術大会の日程

(平成27年3月31日までの予定)

一般社団法人日本口腔腫瘍学会

第33回総会・学術大会

日程: 1月29日~30日

会場: 奈良県新公会堂

大会長: 桐田 忠昭

学術大会事務局:

株式会社コンベンションリンケージ内

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3

PIAS TOWER 11F

TEL: 06-6377-2188, FAX: 06-6377-2075

E-mail: jsot33@c-linkage.co.jp

日本有病者歯科医療学会

第24回総会・学術大会

日程: 3月21日~22日

会場: 旭川市大雪クリスタルホール

大会長: 松田 光悦

学術大会事務局:

〒078-8510 北海道旭川市緑ヶ丘東

2-1-1-1

TEL: 0166-68-2270, FAX: 0166-68-2267

E-mail: jsdmcp24@asahikawa-med.ac.jp



(公社)日本口腔外科学会から推挙され、歯学系学会協議会理事を努めて3年目になりますが、今年度から常任理事に選任されました。本協議会では、専門医制検討委員会委員長として、歯科医療における専門医制度のあり方に係る諸問題について検討して参りました。医科系では新たな専門医制度の仕組みが構築され、来年3月の医学部・医科大学卒業生から適用されるという状況の中で、歯科系における専門医制度のあり方について様々な観点から議論を深めています。

本協議会はこれまで3回、専門医制に関する講演会やシンポジウムを開催して来ましたが、平成26年6月9日に「歯科における専門医制の第三者評価組織等に関する検討」と題し、講演する機会がありました。歯科系専門医制度の基本構想における重要な視点は、国民目線に立って、「若手歯科医師のキャリアアップの目標とする」とこと「歯科医師の生涯研修の努力目標とする」ことです。現在、この基本構想の議論においては、歯科口腔領域の高頻度の疾病に対し適切かつ継続的に歯科医療を担当する「総合歯科専門医」を組み入れて、専門医制度の仕組みを再構築していくことを提案しております。そのためには、歯科医療における専門医制度の第三者評価・認定組織の設置が必要となります。また、歯科医療においても新たな専門医制度の仕組みが実現化すれば、歯科医師個人ばかりでなく、歯科医師会・歯科医学会・歯学協所属団体の活性化にも寄与することが期待されます。

歯学協に所属する臨床系各学会では、専門医制度ばかりでなく認定医制度を実施している学会も多く、コデンタルスタッフの専門的スキルを認定している学会もあります。新たな専門医・認定医の制度設計については、引き続き多くの会員より意見をお寄せ頂ければ幸いに存じます。(弘前大学大学院医学研究科歯科口腔外科学講座)



NPO法人日本咀嚼学会からの代表で、庶務・財務・広報担当常任理事を拝命致しました。歯学協発足当時からいろいろとお手伝いさせて頂いております。今回は広報を担当することになり、さっそく、会員向けへの媒体としてのニューズレターを企画致しました。温かみのある、経費をなるべくかけない事業として、手作りを基本に発行することになりました。HPへの掲載とPDFファイルによる配信も行い、各参加学会(会員)において、それぞれの正会員に対していずれかの配信方法で周知頂けるよう配慮致しました。

昨年3月に鶴見大学を定年退職し、大学の仕事から解放されて1年半が経過しました。6月までは、日本老年歯科医学会の理事長職を2期4年務め、今は日本咀嚼学会と日本歯科人間ドック学会の副理事長を拝命しております。歯科と取り巻く環境が厳しいと言われ始めて、かなりの時間が経過しました。日本歯科医師会や日本歯科医学会もそれぞれの立場で、さまざまな事業を展開しております。歯学協においても日本学術会議への政策提言を中心課題として活動を展開してまいりました。限られた財務状況の中で、可能な限りの事業を取り入れています。喫緊の課題をテーマに年2回のシンポジウムを継続して開催し、そのプロシーディングを会員の皆様に配信しております。日本学術会議への政策提言以外にも、「専門医制」の問題、「歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の育成」に関わる問題、「医療問題」など多岐にわたっております。それぞれが、専門を活かしての事業展開となりますが、会員各位の協力なくしては、成就致しません。是非、積極的かつ前向きなご意見を頂戴できればと、願います次第です。そのためにも、本ニューズレターを有効に使いたいと考えております。今後の各号においては、会員からのご意見をお寄せ頂くべくご依頼申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。



大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンリッジ補綴学分野教授の矢谷博文と申します。現在、公益社団法人日本補綴歯科学会理事長を務めており、本学会を代表して日本歯学系学会協議会の常任理事を拝命いたしました。協議会では企画を担当し、学術会議関係セミナー・会員間意見交換会・講演会等の開催を担当させていただきます。

歯科界は現在長いトンネルに入っております。現安倍内閣は、アベノミクスの3本の矢の3番目の成長戦略に医療を掲げております。医療を成長戦略の要に位置付け、さまざまな改革を行おうとしており、このような政府の方針が歯科界にとっても追い風になる可能性があります。いや追い風にしなくてはなりません。マスコミの報じる安倍内閣の成長戦略には全く「歯科」という文字は出てまいりませんが、日本歯学系学会協議会は総力挙げて歯科医療がいかに国民の健康に役立っているかを証明し、それを国民に広く知っていただくことによって成長戦略の柱の一つに歯科を位置付けていただく必要があると考えております。より質の高い学術情報の発信と健康増進に直結する活動を通じて国民の健康な暮らしや豊かな人生に少しでも貢献できればと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

このNLは、手作りを基本にしております。役員からだけではなく、会員からの声も掲載したいと考えています。また、理事・監事のメッセージも随時掲載いたします。(担当：広報担当森戸・千田)

事務局：口腔保健協会内
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSEビル
電話：03(3947)8891
E-mail: gakkai18@kokuuhoken.or.jp
URL:<http://www.ucjds.jp/>